

「デリバティブ取引に関する定例市場報告 (吉国委統計)」の第4回(99年12月末) 調査結果

2000年2月24日
金融市場局

国際決済銀行(BIS)およびG10諸国(注1)の中央銀行は、96年7月にBISによって取りまとめられた「グローバルなデリバティブ市場統計の改善に関する提案(吉国委員会報告書)」(注2)を受け、グローバル・ベースのデリバティブ統計の作成に協力して取組んでおり、98年6月末に第1回の調査を行った。今回公表する統計は、日本に関する第4回(99年12月末)調査結果である(注3)。なお、BISでは、参加各国の調査結果を集計し、追ってグローバル・ベースでのデリバティブ取引残高統計を公表する予定である。

BISでは、デリバティブ市場の透明性確保と、マクロ・プルーデンス上のモニタリング強化を目的として、①主要ディーラーだけを対象に、半期に1度作成される残高統計、②広範なディーラーを対象に、3年に1度作成される取引高および残高の統計、の2種類の統計を用いて、グローバル・ベースでのデリバティブ市場の調査を実施することとしている。本調査は、このうち①に該当するものである。なお、上記

のうち②に該当する統計については98年4月(取引高)・6月(残高)時点での調査結果が、取引高については98年10月に、また残高については99年6月に、それぞれBISから公表されている。

本調査は、金融機関の自主的な協力に基づき作成されるものであり、本邦からは、主要ディーラー18先が参加している(グローバル・ベースでは、G10諸国から68先が参加)。

本調査では、リスク・ファクターを、①外為、②金利、③エクイティ、④コモディティの4種類に分け、①商品別、②通貨別、③取引相手先別、④残存期間別に、想定元本および正・負の市場価値について、連結ベースの計数をドル建てベースで収集し、取りまとめている。

今回調査結果の主要な特徴点は別添のとおりであるが、集計計数の詳細および本統計に関する解説については、インターネット上の日本銀行ホームページ(<http://www.boj.or.jp/>)より入手できる。

(注1) ベルギー、カナダ、スイス、ドイツ、フランス、英国、イタリア、日本、オランダ、スウェーデン、米国の11か国。

(注2) 『日本銀行月報』1996年9月号掲載「グローバルなデリバティブ市場統計の改善に関する提案(吉国委員会報告書)」参照。

(注3) 日本に関するこれまでの調査結果については、日本銀行ホームページ(<http://www.boj.or.jp/>)を参照。

「デリバティブ取引に関する定例市場報告（吉国委統計）」

第4回（99年12月末）調査結果の概要（注）

1. デリバティブ取引残高の規模

(1) 想定元本ベースの取引残高

わが国の主要デリバティブ・ディーラーによる99年12月末のデリバティブ取引残高について想定元本ベースでみると、OTC取引が13.7兆ドル（前期<99年6月末>比+7.5%）、取引所取引が10.9兆ドル（同▲0.9%）となっている。

わが国主要ディーラーによるデリバティブ取引残高の推移

	(単位：兆ドル)								
	98年		98年		99年		99年		前年 同期比
	6月末	12月末		前期比	6月末	12月末	前期比		
OTC取引計	12.9	13.3	2.9%		12.8	-4.1%	13.7	7.5%	3.1%
うち金利関連取引	9.5	10.6	10.7%		10.7	1.0%	11.8	10.8%	11.9%
外為関連取引	3.4	2.7	-19.4%		2.1	-23.7%	1.9	-10.0%	-31.3%
取引所取引計	7.3	9.7	33.1%		11.0	12.8%	10.9	-0.9%	11.8%
うち金利関連取引	7.3	9.7	33.5%		10.9	12.7%	10.9	-0.8%	11.7%

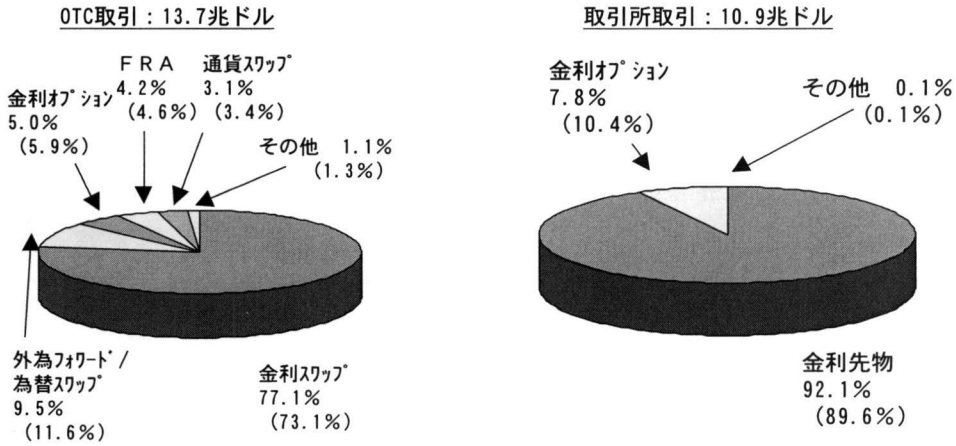
OTC取引についてリスク・ファクター別にみると、金利関連取引の増加が、OTC取引全体の残高規模を拡大させる形となっている。すなわち、金利関連取引の残高が11.8兆ドルと前期比+10.8%の増加となっているのに対し、外為関連は1.9兆ドルと前期比▲10.0%の減少となっている。また、エクイティ関連取引が前期比+27.9%、クレジット・デリバティブが前期比+48.2%と高い伸びを示している。

なお、金利関連取引が大部分を占める取引所取引では、今回調査では前期に比べ残高がほぼ横這いとなっている。

OTC取引の商品別内訳では、金利スワップのシェアがやや拡大し（前回73.1%→今回77.1%）、外為フォワード・為替スワップ取引がシェアをやや低下させている（前回11.6%→今回9.5%）ものの、全体としての商品別シェアは大きく変化していない。

(注) 本調査では、報告対象金融機関相互での取引の二重計上を調整していない。なお、BISより追って公表されるグローバル・ベースの残高では、二重計上が調整される予定。

デリバティブ取引残高（99年12月末：想定元本）の商品別内訳



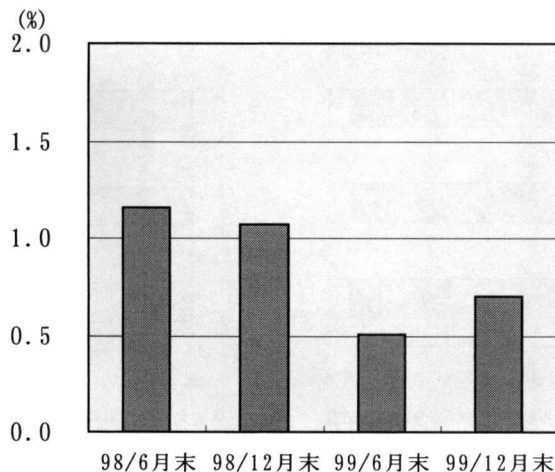
(注) () 内は、99年6月末における各商品のシェア。

(2) 市場価値ベースの取引残高

グロス市場価値ベースのOTC取引残高についてみると、正の市場価値が1,796億ドル（前期比+16.1%）、負の市場価値が1,567億ドル（同+5.4%）と、いずれも増加している。

また、ネットティング契約によるカウンターパーティ・リスクの削減効果を考慮した上でOTC取引の市場価値残高をみると、ネット正の市場価値が963億ドル（前期比+49.6%）、ネット負の市場価値が735億ドル（同+26.1%）と、いずれも増加している。この結果、想定元本残高に対するネット正の市場価値の割合は、前回の0.5%から今回の0.7%へと増加に転じている。

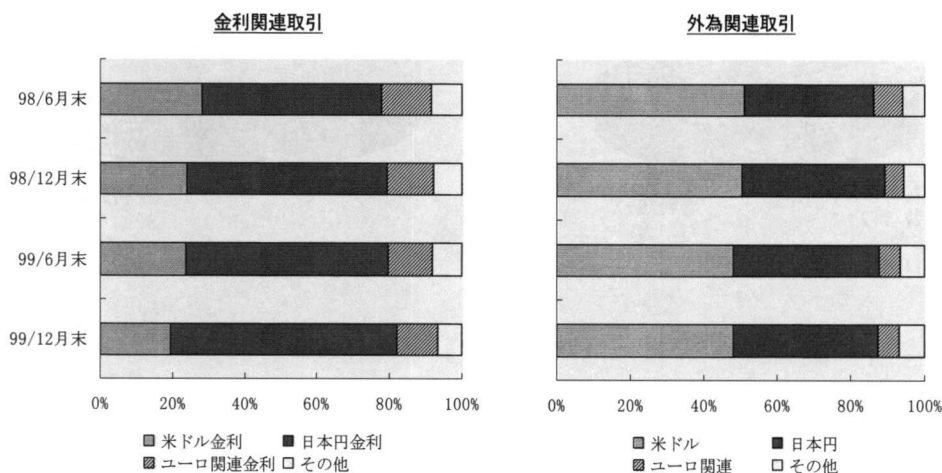
OTC取引想定元本残高に占めるネットティング考慮後の正の市場価値の割合



2. 通貨別内訳の動向

わが国主要ディーラーによるOTCデリバティブ取引の通貨別内訳について、想定元本ベースで見ると、金利関連では円が62.7%（前期56.0%）のシェアを、また、外為関連では米ドルと円で87.4%（同87.8%）のシェアをそれぞれ有しており、引続き中心的な通貨・金利となっている。

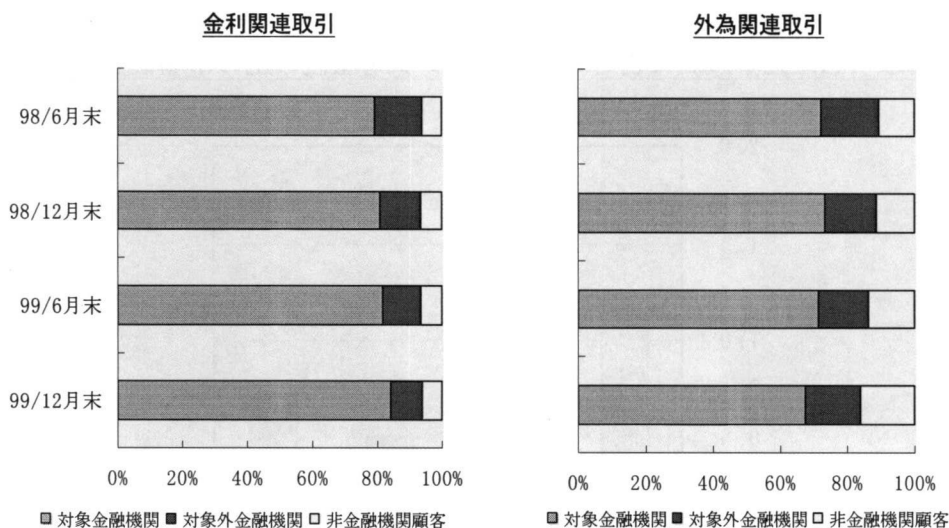
OTCデリバティブ取引残高（想定元本）の通貨別内訳



3. 取引相手先別の動向

OTCデリバティブ取引を取引相手先別内訳についてみると、引続き金利関連では残高の約8割が、また、外為関連取引では同7割が、それぞれディーラー間取引となっている。

OTCデリバティブ取引残高（想定元本）の取引相手先別内訳



4. 残存期間別の動向

OTC取引残高を期間別内訳にみると、外為関連では引続き1年以内の取引が最も多く、8割以上を占めている。一方、金利関連では、これまで1年超5年以内の取引が徐々にウェイトを高めており（98年6月のシェア36.1%→同98年12月44.8%→同99年6月45.5%）が、今回調査では47.1%のシェアを有するようになっている。

OTCデリバティブ取引残高（想定元本）の残存期間別内訳

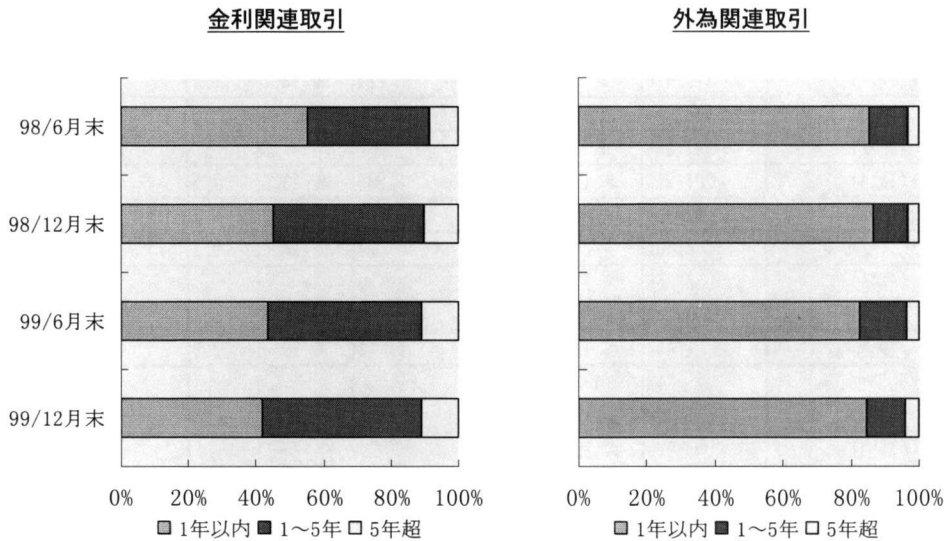


表1：本邦主要ディーラーにおけるOTCデリバティブ取引の残高

(99年12月末、百万ドル)

	想定元本			正の市場価値			負の市場価値		
		前期比 (%)	シェア (%)		前期比 (%)	シェア (%)		前期比 (%)	シェア (%)
OTC取引合計	13,700,605	+ 7.5	100.0	179,596	+ 16.1	100.0	156,653	+ 5.4	100.0
うち外為関連取引	1,865,179	▲ 10.0	13.6	68,727	+ 48.1	38.3	53,054	+ 18.3	33.9
フォワード・為替スワップ	1,304,084	▲ 12.0	9.5	41,633	+ 49.5	23.2	31,607	+ 12.6	20.2
通貨スワップ	421,696	▲ 3.4	3.1	25,554	+ 45.6	14.2	19,999	+ 26.9	12.8
オプション (売り)	69,847	▲ 8.1	0.5	-	-	-	1,449	+ 42.5	0.9
オプション (買い)	69,552	▲ 8.7	0.5	1,542	+ 53.9	0.9	-	-	-
うち金利関連取引	11,820,060	+ 10.8	86.3	110,416	+ 2.5	61.5	102,488	▲ 0.8	65.4
FRA (金利先渡取引)	570,410	▲ 3.4	4.2	226	▲ 18.7	0.1	234	+ 9.9	0.1
金利スワップ	10,559,986	+ 13.3	77.1	107,543	+ 3.4	59.9	97,889	▲ 1.6	62.5
オプション (売り)	381,679	▲ 2.5	2.8	-	-	-	4,366	+ 20.7	2.8
オプション (買い)	307,985	▲ 15.7	2.2	2,645	▲ 23.8	1.5	-	-	-
うちエクイティ関連	12,924	+ 27.9	0.1	394	+ 52.1	0.2	1,064	+ 209.3	0.7
フォワード・スワップ	8,407	+ 24.4	0.1	94	+ 184.8	0.1	95	+ 179.4	0.1
オプション (売り)	2,368	+ 37.4	0.0	-	-	-	969	+ 212.6	0.6
オプション (買い)	2,149	+ 32.1	0.0	300	+ 32.7	0.2	-	-	-
うちコモディティ関連	2,442	▲ 18.1	0.0	2	▲ 99.3	0.0	1	▲ 99.2	0.0
フォワード/スワップ	12	+ 0.0	0.0	-	-	-	-	-	-
オプション (売り)	1,490	▲ 16.6	0.0	-	-	-	-	-	-
オプション (買い)	940	▲ 20.5	0.0	-	-	-	-	-	-
(参考) クレジット・デリバティブ	16,538	+ 48.2	0.1	-	-	-	-	-	-

(注1) 合計、小計、項目毎に個別金融機関の計数を足上げていること、および四捨五入の関係から、内訳の足上げと合計、小計の計数は完全には一致しない。

(注2) クレジット・デリバティブの計数は、OTC取引合計の中には含まれない。

表2：本邦主要ディーラーにおける取引所デリバティブ取引の残高

（99年12月末、百万ドル）

	想定元本		
		前期比 (%)	シェア (%)
取引所取引合計	10,865,347	▲ 0.9	100.0
うち外為関連取引	1,821	+ 44.5	0.0
先物（ロング・ポジション）	49	▲ 92.2	0.0
先物（ショート・ポジション）	1,579	+ 149.1	0.0
上場オプション（買い）	70	—	0.0
上場オプション（売り）	123	—	0.0
うち金利関連	10,857,264	▲ 0.8	99.9
先物（ロング・ポジション）	4,822,508	+ 6.7	44.4
先物（ショート・ポジション）	5,188,417	▲ 2.0	47.8
上場オプション（買い）	330,926	▲ 27.3	3.0
上場オプション（売り）	515,410	▲ 24.2	4.7
うちエクイティ関連	6,239	▲ 16.9	0.1
先物（ロング・ポジション）	502	▲ 60.3	0.0
先物（ショート・ポジション）	3,672	▲ 6.9	0.0
上場オプション（買い）	380	▲ 37.5	0.0
上場オプション（売り）	1,685	▲ 0.4	0.0
うちコモディティ関連	23	▲ 96.0	0.0
先物（ロング・ポジション）	8	▲ 95.1	0.0
先物（ショート・ポジション）	10	▲ 94.3	0.0
上場オプション（買い）	3	▲ 97.6	0.0
上場オプション（売り）	2	▲ 98.3	0.0

（注） 合計、小計、項目毎に個別金融機関の計数を足し上げていること、および四捨五入の関係から、内訳の足し上げと合計、小計の計数は完全には一致しない。